

札幌医科大学から世界へ



先進研修連携枠 (ATOP-M)

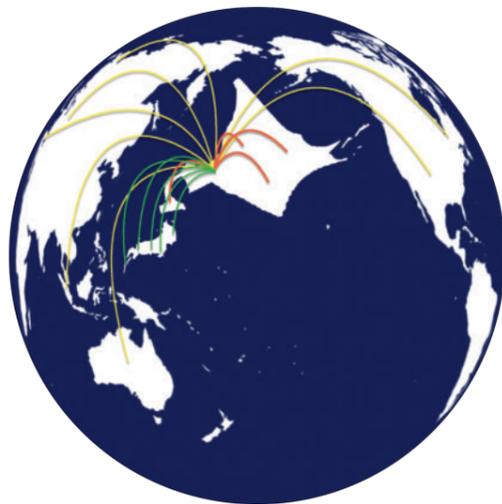
札幌医科大学は「医学・医療の攻究と地域医療への貢献」の建学の精神の下、北海道の地域医療に貢献すると共に世界へ羽ばたく医療人を育成してきました。

医学部においては、一般選抜に「北海道医療枠」を、推薦入試には「地域枠」を設け、北海道内外の医学・医療において指導的・中核的役割を果たす医師を育成し送り出してきました。

本学の卒業必修プログラム※が、地域医療への理解と国際性を兼ね備えた医師・医学研究者の育成を目指したものであることをより明確にするため、2020年度入試より「北海道医療枠」「地域枠」の名称を「先進研修連携枠 (ATOP-M)」に統一しました。

札幌医科大学医学部では今後も、アドミッション・ポリシーで求めている資質を有する学生を受け入れ、地域や国際医療に貢献できる医師と、世界に通じる医学研究者を育てていきます。

ATOP-M(エイトップ-エム)
Advanced education and training opportunities program for medical students



※札幌医科大学附属病院を含む臨床研修指定医療機関で臨床研修を修了後、本学医学部又は附属病院の各診療科に所属し、7年間、本学及び本学の卒業必修プログラムに関連する国内外の医療機関又は研究機関において医学・医療に従事するものです。

医学部カリキュラム (全入試枠共通)

	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
教養教育科目	→	→	→	→		
基本的事項科目	→	→	→	→		
基礎医学系科目	→	→	→	→		
臨床医学系科目		→	→	→		
社会医学系科目	→	→	→	→		
臨床医学実習				→	→	→
MD-PhDコース		→	→	→	→	→

共用試験 (CBT, OSCE) Post-CC OSCE 卒業試験・国家試験

(研究医育成) MD-PhDコース

このコースを履修する学生は、医学部第2学年から基礎研究に携わることができます。世界に通用する研究者を育成することを目的としており、優秀な指導教員のもと研究に励みます。



医学部医学科は、2021年度に一般社団法人日本医学教育評価機構 (JACME: Japan Accreditation Council for Medical Education) による医学教育分野別評価を受審し、2023年1月17日付で医学教育における国際基準に「適合」していると認定されました。

入試枠連動のキャリア形成

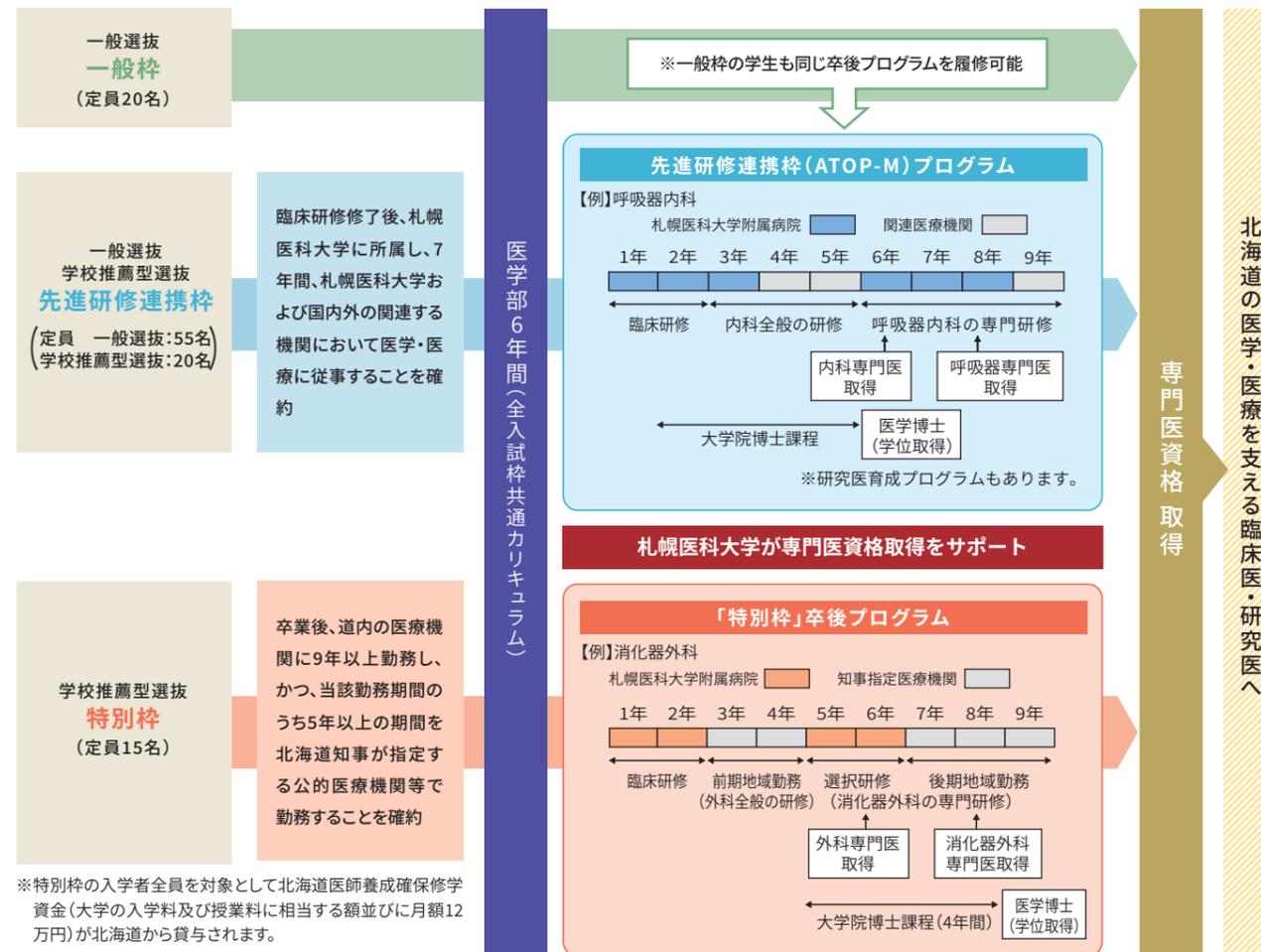
卒業後キャリア形成モデルプログラム

医学部卒業後、医師として一人前になるまでには、臨床研修・専門研修を含めて約10年かかると言われますが、この期間に、いかに有益な研鑽を積めるかが、キャリア形成の分かれ道となります。

札幌医科大学医学部「先進研修連携枠」の入学生は、卒業後2年間の臨床研修を経て、3年目からは本学附属病院各診療科及び医学部講座等に7年間所属します。充実した指導医陣のもと、本学附属病院や国内外の関連機関で研鑽を積み、専門医の資格を取得するプログラムに従事します。また、「特別枠」の入学生は、卒業後、道内の医療機関に9年以上勤務し、かつ、当該勤務期間のうち5年以上の期間を北海道知事が指定する公的医療機関等で研修・勤務し、臨床医としての研鑽を積みながら地域医療への貢献を果たすことになります。

プログラムにおいては、大学院に進学し、研究の道で学位 (医学博士) を取得するプランも選択できます。

こうした様々な可能性を具体化するプログラムが用意されています。



卒業後のキャリアを見据えた

幅広いプログラム

